

第2回佐渡市市営高齢者施設あり方検討会 議事録

- 1 日時 令和7年7月30日（水）午後1時30分～3時
- 2 会場 佐渡市役所 本庁2階 大会議室
- 3 出席者 委員9名、事務局6名
- 4 議題

（1）第1回検討会の意見等の基づく追加資料の説明

民間施設との比較、日常生活圏域における人口・高齢化率等の推移について、施設入所申込者の推移、待鶴荘の申請者数等について、居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービスの利用実績等について説明

（2）すこやか両津の移転後の状況について

各サービスの移転前後の稼働率や利用者数について説明

（3）市営高齢者施設の方向性について

施設サービスの見込量について説明

【委員からの主な意見等】

- ・すこやか両津移転後、佐渡総合病院と連携ができている。
- ・市内の法人が「人材不足」と言われる中、すこやか両津は職員が確保されている。以前やっていた人事交流等ができればいいのではないかな。
- ・人材は、年齢層や男女比等を含め5年後・10年後どうなるか、他の施設においても情報を集め、市全体で今後どうなるか考えていった方がよい。
- ・現状の施設はそのまま継続してほしいが、今後どこかのタイミングで、施設を修繕しながら縮小、もしくは法人統合していくことになるのでは。
- ・すこやか両津は、海拔、水害等建物自体に不安がある。両津の施設でなく老健さどを活用できるのがいいと思う。
- ・介護認定者数の減を考えると、すこやか両津の運営は縮小の方向がいいのではないかな。人力的なことでは他施設の縮小も考えられるので、出来るだけ早期にと考える。
- ・老健なのか特養なのか、施設は縮小しなければいけない時がくる。それまでは、すこやか両津はこのまま金井地区でやってほしい。
- ・民間で運営は難しい施設なので、待鶴荘、ときわ荘は維持してほしい。定員は今の規模でなく見直す必要があるのではないかな。
- ・待鶴荘の2人部屋の解消が必要。
- ・すこやか両津が定員を縮小して行って、待鶴荘・ときわ荘が老健さどに移るがいいのではないかな。ハード的に心配な部分はある。